

ひめだ高宏ニュース

NO.1023

14.8.27

日本共産党 和歌山市会議員

第3回 サマー・ピース祭り 日本共産党 市南後援会

8月24日(日)日本共産党和歌山市南ブロック後援会は紀三井寺団地自治会館・公園で、第3回サマー・ピース・祭りを開きました。子ども達に厚労・核兵器のない社会をめざすの思いから、若いお父さん、お母さんにも来てもらい、日本共産党をもっと知ってもらいたいと一昨年から始めた祭りです。

昨年以上回る／300人の参加



よさこいグループが喜笑花がオープニングで踊る!



かとう直人さんも踊りの輪に



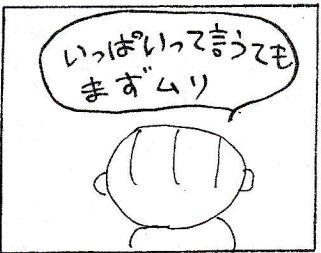
ちびっこ魚つかみとり大会

山本後援会長の開会宣言に続き、よさこいグループ、喜笑花の演舞で祭りは始まりました。踊りの練習もあり、かとう直人さんも踊りました。会館内で日森さんのマジックショーとバザーが、360匹の鮎を入水たろ・5m四方のプールと幼児用プールにも子ども達が入り、ちびっこ魚つかみ大会が、保護者の方たち

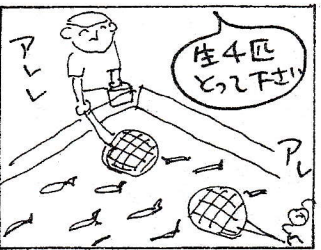
フリーの人々



サマー・ピース祭りかめよー



いっはいってきうてもまずムリ



生4匹とっせ下せ!



アミでもなかなかくえんもん!!

しかし子ども達も5匹つかまえた

はプールのまわりで応援です。暑さに耐え炭火で持ち帰り用の鮎を塩焼きにしてく水ました。ご苦労様。スパーボールすくいと輪投げも。平和に関するパネルを見た中学生から質問があったという事です。

こんにちは 日本共産党のかとう直人です。

(その32)

障害者の外出支援

私の所属する障害者グループホームのメンバー

この外出支援はまだ多くの制約、制限、(時間、教や目的)がある。人によって要求も異なるからその人に合った支援が得られるように改善の余地は大きい。障害のない他の者との平等の観点に立てば社会の障壁を取り除くための工夫が生まれなくてはまずい。

の一人が週一回だが外部のヘルパーさんが来てく水と一緒に散歩に出る生活が始まった。人と接したり会話をすることがスムーズにできなかったり、自分の意思表明が苦手な彼、同伴してく出るヘルパーさんと一時間ほど二人で行ってくる。幾度か体験してみても結構楽しんでるような気持ちが見て取れる。これまで障害者は生活スタイルを強制



かとう直人 (県議予定候補)

県知事候補に畑中正好さん (62)



畑中正好 田辺市在住
田辺市生まれ、田辺市在住

8月18日(月)「ゆたか」で住みよい和歌山県をくくる会(県つくくる会)は、11月13日(日)の30日投票の県知事選挙に畑中正好さん(無所属・日本共産党推せん)を擁立する意向を発表。

畑中正好さんは74年に野間友一法律事務所に入職。現在は和歌山合同法律事務所の事務局長です。また市町村長として3億4千万円もの県の裏金づくりや国議の違法な政務調査費支出などの問題を追及する先頭に立ち、税金のムダ使いを厳しくチェックしてきました。08年より日本国民救済会

和歌山県本部会長として、権力における不当な弾圧を許さない活動にも奮闘。畑中正好さんは「いま安倍政権が行うとしていることは、県民の命とくらしに直結する。国にもせんとものが言える県政をみなさんと一緒に実現したい」と表明。紀淡連絡道路や防災訓練に米軍オースプレイの参加を進めるに坂島政から、憲法をいかに県民が主人公の県政への転換を許しました。

こんごちは日本共産党

日本共産党の山下よし子書記局長は25日、国会内で記者会見し、土石流による死者・行方不明、住宅損壊・浸水、停電、断水など甚大な被害とな

っている広島市の土石災害に対する県の取り組みについて報告しました。山下書記局長は、災害発生後、ただちに党として対策本部を設置し、広島県の現地党组织と連携を取り合いながら諸活動にあたり、い

て強調しました。そして、被災者の避難を把握し、その実現のために行政に積

極的に提案を行う。②ボランティアを組織し、母全に配慮しながら現地の支援にあたる。③「広島等豪雨災害支援基金」の取り組みを全国へ広げたい。④土石災害を繰り返さないために何が必要かの検討と提起。この4つの活動を強めていくと述べました。

潮流

日本政府が今、沖縄に力で襲いかかっています。名護市辺野古への米軍新基地建設です。政府は18日から海底ボーリング(掘削)調査の開始を強行しました。海上には海上保安庁の巡視船を多数配置。抗議する住民らの漁船やカヌーに対し、同庁のコムボートが威嚇。住民を丸ごと、力づくで屈服させようとする政府の意図が、これほどあらわになったことがあったのだ。社説でそう糾弾したのは、地元紙の琉球新報です。見出しは「もはや、恐怖政治だ」▼今回の異常なまでの強硬手段は官邸主導に指摘されています。安倍首相は、米国から敵意を窺うようになっていて、その中で強調しているのは、「ほとんどの県民は新基地建設に反対している」ということです▼報告書は続けます。安倍政権は新基地建設に向け、「前例のない圧力と誘導」を行って

している。しかし、住民の抗議行動に「日米両政府が高圧的対応を取れば、1月の沖縄県知事選で反対系の政治家を利用することによって、なかりかぬない」と▼「沖縄の米軍基地は、とりわけ地元の政治に脆弱だ」。そう指摘するのは米総務省ウォール・ストリート・ジャーナル(20日付電子版)です。オバマ政権が進めるアジア重視の軍事戦略も「沖縄の人々の要求によって、つきずくことにならぬかもしれない」。強権的やり方からは、弱さも透けてみえます。

日刊しん 赤旗 3407号